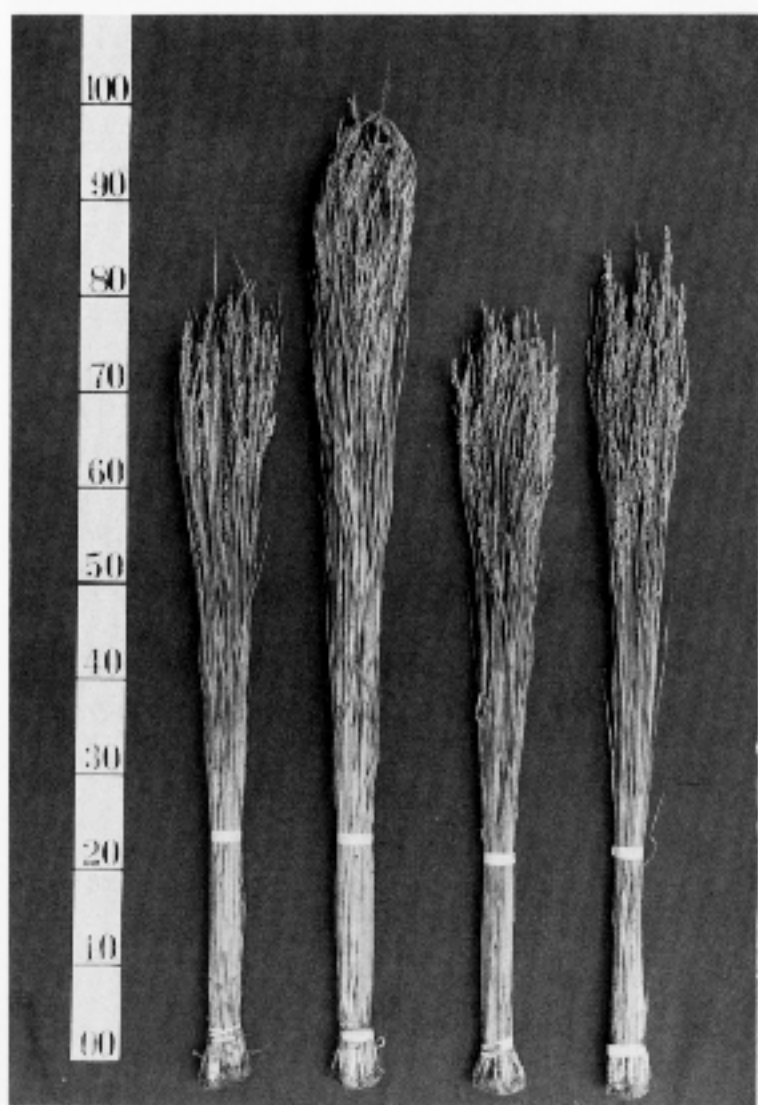


[キタアケ]



キタアケ                      はやこがね  
 しおかり                      イシカリ



キタアケ                      しおかり

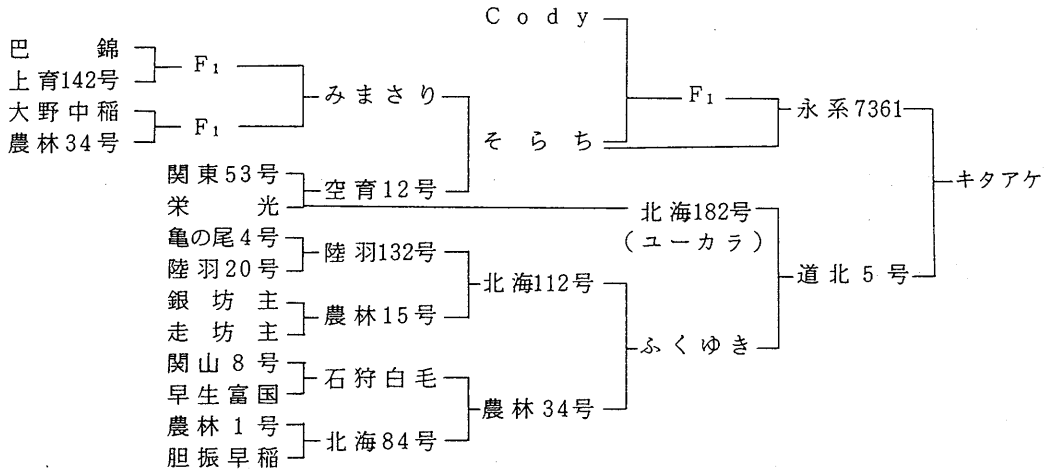
# 17. キタアケ

登録番号 水稲農林 268 号  
 登録年月日 昭和 58 年 5 月 26 日  
 旧系統名 道 北 36 号  
 育成場所 北海道立上川農業試験場  
 種苗登録号 第 594 号  
 種苗登録日 昭和 59 年 9 月 5 日

## 1. 来 歴

「キタアケ」は、昭和49年、北海道立上川農業試験場（育種指定試験地）において、中生の耐冷耐病や良質系統の「永系7361」を母とし、早生で強稈耐冷やや良質の「道北5号」を父として人工交配を行い、直ちに冬季温室にてF<sub>1</sub>養成を行い、夏季本田で集団栽培、昭和50年冬再び温室にて栽培した後、昭和51年にF<sub>2</sub>世代で個体選抜し、以後系統育種法により選抜・固定を図った。昭和53、54年に生産力検定試験および特性検定試験に供試し、昭和55年より「道北36号」の系統名を付し、関係機関・地帯に配布して地方適否を確認し、昭和58年5月「水稲農林268号」として新品種に登録され、「キタアケ」と命名された。

## 系 譜 図



## 2. 形態的特性

稈長と穂長は「しおかり」「イシカリ」より短く「はやこがね」並の短稈短穂で、穂数も「はやこがね」並に多く、草型は穂数型である。止葉は短く中～やや直立し、穂は中～やや垂れ気味である。籾の粒着密度は「はやこがね」並の中である。稀に極短い芒を有し、稈色と稈先色は黄白であるが、「しおかり」「イシカリ」「はやこがね」などよりやや淡い。脱粒性は難である。割れ籾の割合は「しおかり」「はやこがね」と同程度に少ない。

粳種で、玄米の形状は中で「しおかり」「はやこがね」より長いが、「クタヒカリ」より僅かに円い。粒大はやや大で、千粒重は「イシカリ」よりもやや重い。心白は「しおかり」並で腹白は「しおかり」より少ないが、「はやこがね」「イシカリ」よりは多い。色沢はやや淡で、光沢がある。玄米品質は「しおかり」に優り、「はやこがね」並の上の下であるが、粒形、粒大を含む総合品質では「はやこがね」に優る。搗精歩合は「しおかり」「はやこがね」よりやや高く、育成地では「イシカリ」並である。食味は「はやこがね」「イシカリ」に明らかに優り、「しおかり」に比し同程度かやや優るが「クタヒカリ」にはやや劣る。

### 3. 生態的特性

出穂期は「はやこがね」よりやや晩く、寒地では早生の晩に属し、成熟期も早生の晩で、「はやこがね」および平常年の「しおかり」とほぼ同熟期である。稈質はやや剛で、耐倒伏性は「イシカリ」に近い強とみられる。障害型耐冷性は「はやこがね」と同程度の強である。出穂遅延耐冷性は「イシカリ」並のやや強で、「しおかり」より明らかに強い。いもち病抵抗性遺伝子は  $Pi-a$  と  $Pi-k$  を持つと推定される。圃場抵抗性は、葉いもち病は中、穂いもち病は中～やや強である。

登熟性は「しおかり」に比しやや劣り、ほぼ「はやこがね」「イシカリ」並であるが、登熟期の気温が極端に低い条件下では「はやこがね」よりも登熟が遅れる。枯上りは少なく、成熟期の熟色は「はやこがね」「イシカリ」並に良好である。

収量性は「しおかり」「はやこがね」に優り、ほぼ「イシカリ」並の多収であるが、収量水準が高い場合には「イシカリ」にやや劣る傾向がある。

### 4. 適地等

寒地の早生種地帯および中生種地帯で、具体的には、渡島・桧山の南部を除く、北海道のほぼ全域の稲作地帯に適応する。

奨励品種採用県

北海道（昭和58年～）

### 5. 栽培上の注意

- (1) 登熟が不良となる環境条件では良質米生産が期待し難いので、過度な施肥を避けると共に健苗育成、適期移植、適性な栽植密度および適性な水管理で生育の促進を図る。
- (2) いもち病抵抗性が十分でないので、その発生に注意し、適期防除に努める。
- (3) 耐冷性は強い方であるが、十分とは言えないので、冷害危険期の深水灌漑を励行する。
- (4) 栽培条件による玄米品質の変動は中位と思われるので、良質米生産上適期刈取りを励行する。

6. 品種名の意味

北の稲作の発展の願いを込めて、「北明け」を意味する。

7. 育成者氏名

和田 定(交配~F<sub>6</sub>), 江部康成(F<sub>6</sub>~F<sub>10</sub>), 国広泰史(交配~F<sub>10</sub>), 新橋 登(F<sub>5</sub>~F<sub>10</sub>), 本間昭(交配~F<sub>9</sub>), 佐々木一男(交配~F<sub>7</sub>), 佐々木多喜雄(交配~F<sub>7</sub>), 沼尾吉則(交配~F<sub>7</sub>), 森村克美(交配~F<sub>4</sub>), 丹野 久(F<sub>10</sub>)。

8. 試験成績

(1) 生育調査成績

栽培 条件	品 種 名	初 期 茎 数 (本/m <sup>2</sup> )	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	結実 日数 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本 /m <sup>2</sup> )	倒伏 多少	不稔 歩合 (%)	穂 いもち 多少	割粳 歩合 (%)
成苗 標肥	キタアケ	138	7.30	9.21	53	58	15.0	574	0	7	0	29
	しおかり	136	8.3	9.23	51	72	16.1	516	0	9	0.3	16
	はやこがね	143	7.29	9.21	55	59	15.0	577	0	7	0	25
	イシカリ	132	8.1	9.24	54	61	16.9	501	0	8	0	70
成苗 多肥	キタアケ	134	7.30	9.24	55	61	15.1	654	0	8	0.8	24
	しおかり	143	8.2	9.26	55	75	16.8	579	0.3	10	1.0	17
	はやこがね	144	7.29	9.25	58	63	15.4	650	0.3	8	0.8	22
	イシカリ	138	8.1	9.28	58	67	17.5	585	0	8	1.0	60

注 1) 昭和54~57年の調査。

2) 初期茎数の調査日……昭和54:6月15日、昭和55:6月13日、昭和56:6月19日、  
昭和57:6月15日

3) 倒伏の多少……0:無 1:微、なびく 2:少 3:や少 4:中 5:多 6:甚

4) 穂いもち多少……0:無 1:微 2:少 3:や少 4:中 5:多 6:甚

(2) 特性調査成績

品 種 名	草 型	稈		芒 性	稈 先 色	粒 着 密 度	玄 米					食 味
		細 太	剛 柔				粒 形	大 小	粒 色	光 沢	品 質	
キタアケ	穂 数	中	やや剛	稀・極短	黄白	中	中	やや大	薄給	良	上 下	上下下
しおかり	偏穂数	中	やや柔	多・中	黄白	密	円	小	薄給	やや良	上下下	中 上
はやこがね	穂 数	やや細	中	稀・極短	黄白	中	円	やや小	薄給	良	上 下	中 下
イシカリ	偏穂数	中	やや剛	無 芒	黄白	やや密	やや長	やや大	給	やや良	上 下	中 中

注) 昭和54~57年の調査。

(3) 収量および品質調査成績

栽培 条件	品 種 名	収 量 (kg/a)				玄米重 比 率 (%)	玄 米			
		稈重	精籾重	玄米重	屑米重		立重 (g)	千粒重 (g)	品 質	検査 等級
成苗 標肥	キタアケ	47.3	68.9	55.1	1.8	103	839	22.9	上 下	1.6
	しおかり	54.6	70.0	53.4	3.5	100	835	20.1	上下下	1.9
	はやこがね	46.4	64.4	51.1	2.5	96	833	20.7	上 下	1.5
	イシカリ	52.2	70.8	56.3	3.5	105	835	22.3	上 下	2.4
成苗 多肥	キタアケ	53.9	78.1	62.0	2.6	119	839	22.9	上 下	1.4
	しおかり	67.6	69.4	52.3	4.2	100	834	19.8	上下下	2.1
	はやこがね	52.7	70.4	58.1	4.1	111	831	20.7	上 下	1.9
	イシカリ	59.4	79.1	62.8	3.5	120	833	22.1	上 下	2.4

注 1. 昭和54～57年の調査。

2. 検査等級は、2等であれば2上、2中、2下も2.0として計算した。

(4) 特性検定試験成績

ア. 耐冷性

品 種 名	障 害 型						遅延型
	育成地 冷水 昭53～57	北見農試 冷水 昭55～57	稲作部 冷水 昭55～57	北海道農試 冷水 昭55～57	穂孕期	出穂開花期	
					育成地 気象箱 昭54～57	育成地 気象箱 昭56, 57	育成地 気象箱 昭56, 57
キタアケ	強	強	強	強	強	やや強～強	やや強
しおかり	やや強	やや強	中～やや強	やや強	中	やや弱	やや弱～弱
はやこがね	強	強	強	やや強	やや強	やや強～強	中～やや強
イシカリ	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	中～やや強	やや強
はやゆき	極強	極強	強	極強	強～極強	やや強～強	—

イ. いもち病耐病性

品 種 名	葉いもち病		穂いもち病	
	育成地 昭53 55 ～57	北農試 昭54 ～57	育成地 昭53 ～57	稲作部 昭54 ～57
キタアケ	中	中	中	やや強
しおかり	中	中	中～やや強	やや強
はやこがね	やや強	中	やや強	やや強
イシカリ	中～やや強	中～やや強	やや強	やや強
キタヒカリ	やや弱	中	やや弱	やや弱

## (5) 搗精試験成績 (育成地)

品 種 名	昭 54 年		昭 56 年		昭 57 年 の 1			昭 57 年 の 2			
	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	白米 白度	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	白 度	
										玄米	白米
キタアケ	3	90.1	4	91.1	5	91.0	37.0	5.0	90.7	17.9	36.2
しおかり	3	88.9	4	90.2	4	90.7	37.0	6.3	91.0	17.0	36.4
はやこがね	3	89.7	4	90.9	5	90.5	37.0	5.5	90.5	16.9	35.8
イシカリ	3	90.1	3	90.0	4	90.8	37.5	6.5	91.1	16.8	36.1
キタヒカリ	—	—	3	90.8	—	—	—	6.5	91.2	15.0	35.4

- 注 1. 昭54、56、57年の1は成苗標肥区産米を供試、57年の2は現地試験の材料を育成地で搗精し、2ヶ所（美瑛町、羽幌町）の平均値で示した。  
 2. サタケモーターワンパスOM-250型を使用。  
 3. 白度はケットC-3型白度計で測定した。

## (6) 食味検定試験成績 (育成地)

(標準・しおかり)

品 種 名	外 観		口 あたり	味	粘 り	軟 ら か さ	総 合 評 価
	白 さ	光 沢					
キタアケ	-0.63	0.09	0.09	0.05	0.04	0.37	0.16
はやこがね	-0.60	-0.33	-0.47	-0.33	-0.46	-0.13	-0.62
イシカリ	-0.49	-0.04	-0.19	-0.20	-0.32	-0.13	-0.47

注) 4回の平均値で示した。

## (7) 配布先における試験成績

## ① 北海道における成績

場所	栽培法	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期			不稔歩合 (%)	倒伏程度	玄米収量 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米	
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )					千粒重 (g)	等級
上川	稚中苗標肥	キタアケ	8. 2	9.19	59	14.6	681	7	無	62.1	106	23.3	2上
		しおかり	8. 3	9.26	69	15.0	617	12	無	<u>58.5</u>	<u>100</u>	20.5	2上
		はやこがね	7.31	9.19	58	14.0	723	6	無	61.5	105	21.3	1中
		イシカリ	8. 4	9.26	64	16.0	610	10	無	61.1	104	22.8	2下
農試	稚中苗多肥	キタアケ	8. 2	9.21	63	14.4	828	9	無	64.0	122	22.9	2上
		しおかり	8. 5	9.25	74	15.5	743	18	0.3	<u>52.3</u>	<u>100</u>	19.8	2中
		はやこがね	7.31	9.20	62	14.6	890	8	無	59.7	114	20.9	2上
		イシカリ	8. 5	9.29	69	16.8	740	18	無	62.7	120	22.2	2下
北見	中苗標肥	キタアケ	8. 4	9.23	60	13.4	609	13	無	46.2	100	21.8	2下
		はやこがね	8. 1	9.22	57	14.0	664	21	無	<u>46.3</u>	<u>100</u>	19.8	2下
		しおかり	8.10	10. 1	70	14.9	514	55	無	29.0	63	19.3	2下
		北育65号	8. 5	10. 1	64	15.6	455	53	無	28.3	61	19.9	3上
農試	中苗多肥	キタアケ	8. 6	9.30	60	15.2	645	32	無	44.6	103	21.5	2中
		はやこがね	8. 1	9.26	59	14.0	659	31	無	<u>43.3</u>	<u>100</u>	20.1	2中
		しおかり	8.11	10. 3	73	15.5	562	64	無	24.5	57	19.0	2中
		北育65号	8. 7	10. 2	68	15.5	542	64	無	25.2	58	19.8	3上
原々種農場	稚中苗標肥	キタアケ	8. 2	9.26	60	14.7	619	7	無	60.8	106	24.1	2中
		はやこがね	8. 1	9.25	58	14.2	700	6	無	56.4	99	21.6	2中
		イシカリ	8. 5	9.29	61	17.9	503	10	無	<u>57.2</u>	<u>100</u>	24.4	2中
		ともゆたか	8. 4	9.29	61	16.2	658	10	無	64.4	113	24.5	2中
原々種農場	稚中苗多肥	キタアケ	8. 2	9.28	60	15.2	675	5	無	63.4	115	23.9	2下
		はやこがね	7.31	9.26	62	14.4	752	8	1.3	59.3	108	21.5	2下
		イシカリ	8. 4	9.29	61	17.5	510	9	無	<u>55.1</u>	<u>100</u>	24.6	2中
		ともゆたか	8. 4	9.30	59	16.8	710	9	無	65.4	119	24.4	2下
稲作部	中苗標肥	キタアケ	8. 6	9.30	61	16.0	605	13	無	53.1	105	23.1	3上
		はやこがね	8. 5	9.30	62	15.3	698	11	無	47.6	94	21.0	2下
		イシカリ	8. 8	10. 4	63	18.1	508	18	無	<u>50.7</u>	<u>100</u>	23.1	3上
		ともゆたか	8. 7	10. 4	61	17.3	635	20	無	53.8	106	23.3	3上

場所	栽培法	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期			不稔歩合 (%)	倒伏程度	玄米収量 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米	
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )					千粒重 (g)	等級
北海道農試	稚苗標準肥	キタアケ	8.7	10.2	60	13.6	528	7	0.3	46.3	117	22.2	2中
		はやこがね	8.5	9.26	63	14.8	581	6	0.5	46.7	118	20.7	2上
		イシカリ	8.9	10.2	60	15.4	452	17	0.2	<u>39.5</u>	<u>100</u>	21.4	2下
		ともゆたか	8.8	10.2	6.1	15.0	584	12	0.2	47.3	120	22.2	2下
	稚苗多肥	キタアケ	8.7	10.5	70	14.9	617	9	1.7	54.8	101	21.7	2中
		はやこがね	8.4	9.30	70	15.4	632	12	2.8	53.0	98	20.4	3上
		イシカリ	8.9	10.7	72	16.5	603	21	0.5	<u>54.1</u>	<u>100</u>	21.4	2中
		ともゆたか	8.8	10.5	69	15.7	717	17	0.2	57.2	106	22.0	3上

- 注 1) 昭和55～57年の平均値。  
 2) 上川農試および原々種農場の稚中苗は、昭55、56年が稚苗、57年が中苗。  
 3) 倒伏程度は0：無→5：完全倒伏。

② 現地試験

支庁管内 地帯別	施肥 品種別	収 量 比 率 (%)									
		標 肥					多 肥				
		キ タ ア ケ	し お か り	は や こ が ね	イ シ カ リ	と も ゆ た か	キ タ ア ケ	し お か り	は や こ が ね	イ シ カ リ	と も ゆ た か
網走	走勝	101	78	<u>49.4</u>	—	—	—	—	—	—	
十勝		107	69	<u>38.2</u>	89	—	—	—	—	—	
上川北部		110	<u>47.2</u>	103	(103)	—	114	<u>45.4</u>	114	106	—
上川中部・山麓		109	<u>49.4</u>	102	103	—	118	<u>48.2</u>	111	109	—
上川中南部・良地帯		104	94	(91)	<u>56.2</u>	—	97	89	—	<u>63.1</u>	—
留萌		100	<u>50.1</u>	98	104	—	102	<u>50.2</u>	96	105	—
空知中北部		107	—	<u>46.2</u>	114	(121)	111	—	<u>48.9</u>	114	(115)
空知南部		109	—	96	<u>46.3</u>	107	106	—	88	<u>48.8</u>	96
石狩		110	—	94	43.5	111	112	—	100	<u>44.0</u>	104
後志		110	—	<u>44.9</u>	118	125	114	—	<u>46.7</u>	115	119
胆振		113	—	100	<u>32.0</u>	105	117	—	108	<u>32.7</u>	103
日高		116	—	103	<u>42.4</u>	(96)	129	—	109	<u>39.7</u>	105
渡島・山形・北部		102	—	—	93	48.0	102	—	—	91	<u>48.8</u>

- 注 1) 昭和56、57年の平均値。但し、日高および渡島・山形・北部は昭和57年の1年のみ。  
 2) 各地帯の標準品種は、——で玄米重(kg/a)を示した。  
 3) ( )は、試験カ所数が少ないもの。



9. 稻種苗特性分類一覽

項目番号	形 質	キタアケ		しおかり		はやこがね	
		階 級	区 分	階 級	区 分	階 級	区 分
I-1	草 型	7	穂数型	6	偏穂数型	7	穂数型
I-2-1	稈 長	3	短	6	やや長	3	短
I-2-2	稈の細太	5	中	5	中	4	やや細
I-2-3	稈の剛柔	4	やや剛	6	やや柔	5	中
I-3-2	止葉の直立の程度	5	中	5	中	5	中
I-4-1	穂 長	4	やや短	5	中	4	やや短
I-4-2	穂 数	7	多	5	中	8	極多
I-4-3	粒着密度	5	中	7	密	5	中
I-5-2	穎 色	1	黄 白	1	黄 白	1	黄 白
I-5-3	ふ先色	1	黄白~黄	1	黄白~黄	1	黄白~黄
I-6-1	芒の有無と多少	1	稀	7	多	1	稀
I-6-2	芒 長	2	短	5	中	2	短
I-6-3	芒 色	1	黄~黄白	1	黄~黄白	1	黄~黄白
I-7	玄米の形	5	中	3	円	4	やや円
I-8	玄米の大小	6	やや大	3	小	4	やや小
I-9-2	玄米の色沢	4	やや淡	4	やや淡	4	やや淡
I-10	玄米の粒重	6	やや大	3	小	4	やや小
I-11-1	玄米のみかけの品質	3	上 下	4	中 上	3	上 下
I-11-2	玄米の光沢	7	大	7	大	7	大
I-11-6	腹白の多少	5	中	6	やや多	4	やや少
I-11-8	食 味	3	上 下	4	中 上	6	中 下
II-1	水陸稲の別	2	水 稻	2	水 稻	2	水 稻
II-2	粳, 糯の別	2	粳	2	粳	2	粳
II-3-1	出穂期	3	早生の晩	4	中生の早	2	早生の早
II-3-2	成熟期	3	早生の晩	3	早生の晩	3	早生の晩
II-4-3	障害型耐冷性	3	強	4	やや強	3	強
II-4-4	出穂遅延型耐冷性	4	やや強	7	弱	5	中
II-6	耐倒伏性	3	強	6	やや弱	5	中
II-7	脱粒性	4	やや難	3	難	4	やや難
II-9-1	いもち病推定遺伝子型	11-2	Pi-a, k	1-1	Pi-a		
II-9-2	穂いもち圃場抵抗性	5	中	5	中	4	やや強
II-9-3	葉いもち圃場抵抗性	5	中	5	中	5	中
II-9-7	縞葉枯病抵抗性品種群別						